

「ESET Server Security for Microsoft Windows Server」 V10.0 設定に関する注意事項

法人向けプログラム「ESET Server Security for Microsoft Windows Server」 V10.0の設定に関する注意事項は以下の通りです。
 ご利用環境にあわせて、設定値の変更をご検討ください。
 なお、ご利用のバージョンによって、一部表記が異なる場合があります。

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V10.0

必要に応じて以下の設定をご検討ください。

設定項目	項目詳細	既定値	変更値	説明
ESET LiveGrid	詳細設定 - [検出エンジン] - [クラウドベース保護] - [ESET LiveGridフィードバックシステムを有効にする]	有効	無効	ESETへの情報送信機能を無効にします。ネットワーク通信の負荷を軽減したい場合などに変更をご検討ください。
システムのアップデート	詳細設定 - [ツール] - [Microsoft Windows Update] - [システムのアップデートが未適用の場合に通知するレベル]	緊急のアップデート	アップデートしない	Windows Updateに関するESET製品からの通知が不要な場合、「アップデートしない」に設定します。
スケジューラ	基本画面 - [ツール] - [スケジューラ] - [システムのスタートアップファイルのチェック] (ユーザーログオン時)	有効	無効	ユーザーログオン時の検査を省略します。ログオン直後の動作スピードが遅い場合などに変更をご検討ください。
電子メールクライアント保護	基本画面 - [設定] - [Webとメール] - [電子メールクライアント保護]	有効	停止	サーバーOSでメールを使用しない場合は、本設定項目を無効にすることで、負荷を軽減することができます。
	詳細設定 - [Webとメール] - [電子メールクライアント保護] - [電子メールクライアント統合] - [Microsoft Outlookに統合する]	有効	無効	
	詳細設定 - [Webとメール] - [電子メールクライアント保護] - [電子メールクライアント] - [クライアントプラグインによって電子メール保護を有効にする]	有効	無効	
	詳細設定 - [Webとメール] - [電子メールクライアント保護] - [電子メールプロトコル] - [プロトコルフィルタリングによって電子メール保護を有効にする]	有効	無効	
Webアクセス保護	基本画面 - [設定] - [Webとメール] - [Webアクセス保護] - [基本] - [Webアクセス保護を有効にする]	有効	無効	サーバーOSでWebにアクセスしない場合は、本設定項目を無効にすることで、負荷を軽減することができます。(※1)
	基本画面 - [設定] - [Webとメール] - [Webアクセス保護] - [基本] - [ブラウザスクリプトの詳細検査を有効にする]	有効	無効	
フィッシング対策	詳細設定 - [Webとメール] - [フィッシング対策機能] - [基本] - [フィッシング対策機能を有効にする]	有効	無効	
自動アップデート	詳細設定 - [アップデート] - [基本] - [製品のアップデート] - [自動アップデート]	有効	無効	製品の自動アップデート (バージョンアップ) を適用したくない場合は無効に設定します。
自動アップデートを一時停止	詳細設定 - [アップデート] - [プロファイル] - [アップデート] - [製品のアップデート] - [自動アップデートを一時停止]	無効	有効	特定のカスタムプロファイルで、製品の自動アップデート (バージョンアップ) を適用したくない場合は有効に設定します。

(※1) フィッシング対策機能を無効にするとセキュリティアラートが表示されます。セキュリティアラートを非表示にする方法は以下のWebページをご参照ください。

- 法人向けサーバー - クライアント用製品をご利用の場合 [https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11630?site_domain=business]
- 法人向けサーバー専用製品をご利用の場合 [https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11630?site_domain=Server]